

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市浦舟地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

【お三の宮地区】

地域住民に対してケアプラザの存在や機能を周知するために、5職種を中心として町内会、地区社協、婦人部、老人会の事業、行事に参加しました。

ケアプラザの広報誌を3か月に1回発行し、町内会毎に回覧していただいています。

地域の行事には、スポーツ大会や防災訓練など若い世代の参加するものもあり、徐々にではありますが、高齢者世代以外の方々にもケアプラザの存在認知や機能理解が進んでいます。

地域の支援ネットワーク強化の取組として、民生委員の定例会への参加、地域ケア会議の開催、ケアマネジャー、サービス事業所や民生委員が参加する勉強会の開催等を行いました。

また、エリア内のサービス事業所の運営推進会議や医療機関主催の勉強会参加などにより、事業所との連携、介護医療の連携強化に取り組みました。

介護予防、健康づくりの取組として住民主体の活動グループ「元気サロンおさんのみや」を立ち上げました。一時期は参加者の減少がありましたが、現在は15名程の方が継続して介護予防、健康づくりに取り組んでいます。

高齢者食事会、クリスマス会、老人会等に出席し介護予防に効果のある体操や脳トレを実施するなど、住民の身近な場所で介護予防、健康づくりの取組を進めました。

元気づくりステーション「ハッピー脳トレウォーキング」の後方支援を継続していますが、ますます活動が活発になっており、毎週開催になったことで参加者に良い効果が現れています。

【寿東部地区】

お三の宮地区と同様に地域住民に対してケアプラザの存在や機能を周知するために、5職種を中心として町内会、地区社協、婦人部、老人会の事業、行事に参加しました。

ケアプラザの広報誌を3か月に1回発行し、町内会毎に回覧していただいています。

連合町内会と南吉田小学校の共同防災訓練では、南区社協とともにブースを設置し、災害対策の多言語版リーフレットの配布を行いました。

単身で身寄りのない方が多い地域であるため、南区高齢・障害支援課、生活支援課と常に連携し包括支援センターとの定例カンファレンスで情報共有するなどして支援を行いました。

また、成年後見制度の周知のために専門機関の講師による講座を開催するとともに、必要に応じて申請等の手続きの支援を行いました。

外国に縁のある住民への支援の一環として、ケアプラザ内に多言語版の包括支援センター案内チラシを掲示しました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- 1 地域の方々が安心して安全に施設をご利用いただけるよう、建物管理委託業者と連携し定期点検や衛生管理を実施するなど適切な建物管理を行いました。
- 2 館内入口や洗面所に手指消毒液を設置するなど感染症予防にも注意を払い、手洗い、うがいの徹底を職員が励行し、お客様に対しての呼びかけもポスター等で行いました。
環境整備を行う職員を配置し、細かい部分まで衛生管理を徹底しました。
さらに感染症発生時にも職員が迅速、的確に対処できるよう研修や訓練を行いました。
- 3 建物および設備で修繕が必要な箇所は施設運営に支障が出ないように早急に対応しました。
今年度を実施した修繕は、「厨房関連」「火災感知器」「誘導灯」「GHP」「天井灯」等です。

イ 効率的な運営への取組について

- 1 労務、経理等の事務を行う事務職員を専任として法人独自に配置し、業務の効率化を図りました。
- 2 総合相談件数等の管理や、介護保険請求、業務記録についての専用システムを活用し、業務の効率化を図りました。
- 3 法人内の地域ケアプラザ所長会や、各職種の担当者会議で効率的な運営に関する情報共有を行いました。
- 4 法人のスケールメリットを生かし、リース車両、リースパソコンの一括入札を行うことで、経費削減を図りました。
- 5 複合福祉施設内の管理委員会で担当を定め、全館の効率的な運営への取組みを図りました。

ウ 苦情受付体制について

- 1 事業所で苦情受付担当者、苦情解決責任者を定め、法人の苦情解決規則に則り、お客様からのご意見、ご要望、苦情に対応しました。
- 2 ケアプラザ内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでもご意見などを受付できるようにしています。苦情、ご意見を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、対策を講じるなど、今後も再発防止に努めます。
- 3 法人内のケアプラザ所長会で適宜、苦情の報告を行い、ケアプラザにおいて、サービスの質的向上に反映しました。
- 4 事業毎にお客様アンケートを実施し、改善、発展につなげました。
- 5 法人では公正・中立の立場から、あっせん、調整を行う第三者委員制度を設けています。今年度は第三者委員制度に繋がる事例はありませんでした。今後も適切な苦情解決に向けて継続して取り組みます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1 防犯対策として、日中は職員が巡回を行い、夜間は職員が最終確認を行った後、機械警備を行っています。なお、当複合福祉施設は1階の総合防災センターに24時間スタッフが常駐し緊急時に対応しました。
- 2 災害発生時に速やかに対応できるよう、防災対応マニュアル・消防計画等を策定しています。さらに独自に地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り迅速的確に対応するため、法人内の全事業所で業務継続計画（BCP）を整備し、適正な対応に備えました。
- 3 年2回の自主防災訓練を継続実施して、緊急時に職員がマニュアルに添った対応がとれるよう災害時の体制を整えました。
複合福祉施設全体としても、年間各1回の全館合同の防災・防火訓練を継続実施して、各施設が協力して災害時の対応が出来るように体制を整えています。
- 4 特別避難場所として、応急備蓄物資の数量や保管状態の確認を行い、災害時に有効に機能するための体制を維持しました。また、法人独自に行っている各事業所への物資の備蓄を継続しました。
- 5 法人として、平成18年1月に横浜市と災害時相互援助協定を締結しており、災害ボランティアヘルパーとして、援助可能なボランティアを有しています。

オ 事故防止への取組について

1 事故防止の取組

- (1) 事故に至らなかった事例についても積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めました。
- (2) 定期的な研修を実施し、リスクマネジメントの取組を強化しました。
- (3) リスクマネジメントの視点での環境整備を行うとともに、介護保険サービス提供においては、朝のミーティングや申し送りノート等でお客様の心身状況の把握とスタッフ間の情報共有を図りました。

2 再発防止のための対策

- (1) 再発防止に向けて、迅速に事故の状況分析や原因究明を行いました。
- (2) 再発防止対策を検討し、改善等を実施した後、横浜市・南区役所・法人本部へ報告を行いました。
- (3) 法人内のケアプラザ所長会で適宜、事故事例の検討を行い、ケアプラザにおいて、事故発生予防、再発防止の取組に反映しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

1 個人情報保護規程の策定

当法人では「個人情報保護規程」を定めており、各事業所で個人情報の管理に関する責任者と担当者を定め、管理体制と責任を明確にし、個人情報の保護に取り組みました。

2 研修

全職員に対し、年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施し、緊張感を持って個人情報を取り扱うように周知、徹底しました。

3 個人情報の取り扱い

- (1) 実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管しています。業務上持ち出しが必要な場合には専用バッグを用いて紛失や漏えいのないよう最小限の情報のみとし、持ち出し返却の確認簿により管理を徹底しました。
- (2) 個人情報の漏洩防止のため、郵便物の発送やFAX送信などの際には、複数の者が必ずダブルチェックをした後に記録を行い、FAX送信の際は氏名等にマスキングをするなど管理を徹底しました。
- (3) 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面や口頭で了解を得たうえで掲載しました。
- (4) 伝言メモは机上に貼付せずに、伝言メモ用ファイルの活用や施錠できる保管庫を使用して伝達するなど、具体的な保護対策を実行しました。

キ 情報公開への取組について

1 情報公開の取組

ホームページの公開やパンフレット・チラシの配布を通し、地域の皆様に当法人・当ケアプラザを知って頂き、信頼を得られるように努めました。

2 情報公開規程の策定と実施

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は「情報公開規程」を定めています。

今年度は1件の情報開示請求があり、法人本部を窓口として速やかに適切な情報開示を行いました。

3 情報提供

法人の概要、サービス内容、財務状況（予算・決算等）、事業計画、事業報告、ケアプラザの施設運営情報等については、法人のホームページにて、いつでも閲覧できるようにしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

1 ヨコハマ3R夢【スリム】プランの推進

(1) 省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行しました。

(2) 資源ゴミの徹底した分別収集に協力し、ペットボトルのエコキャップや空き缶のプルタブ回収を地域にも呼びかけ、収集したものはエコ活動につなげました。

2 省エネルギー対策

毎年、電力消費がピークとなる夏季には軽装（クールビズ）で、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛け、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、省エネルギーに努めました。

ケ 人権啓発への取組について

1 ケアプラザを利用いただく全てのお客様の人権を尊重して対応しました。

2 法人で主催する人権研修を職員が受講しました。

介護保険事業

介護予防支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 保健師：1名（兼務） 社会福祉士：2名
主任介護支援専門員：1名 介護予防プランナー3名

《目標》

- 1 お客様が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けることができるように、お客様の意思及び人格を尊重し介護予防プランを作成し、設定された目標が達成できるように支援しました。
- 2 お客様やご家族の主体的な参加を促すとともに適切な保健、医療、介護サービスが提供されるよう、マネジメントしました。
- 3 地域のインフォーマルサービスを把握し、積極的に適正にプランに位置付けました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託する介護予防支援業務については、お客様に対して十分に説明し、お客様の選択を尊重した上で、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に依頼しました。
- 2 地域ニーズに適合した人員を確保し、介護予防ケアプラン作成者の専門性を高め、質の向上を図るために、採用時及び定期（年1回以上）に研修を実施しました。
- 3 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。
- 4 医療機関が多い地域であるため、入院加療を終えたお客様の退院後の在宅生活支援を行う際には、医療従事者と密接な連携を行い、在宅生活を継続していただけるように早い段階から支援しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
207	206	206	203	205	212
10月	11月	12月	1月	2月	3月
201	204	218	217	213	217

居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 介護支援専門員常勤：1名（兼務）
介護支援専門員常勤：1名（専従） 介護支援専門員非常勤：2名（兼務）
介護支援専門員非常勤：1名（専従）

《目標》

- 1 要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、一人ひとりの能力や状態、解決すべき課題（ニーズ）を的確に把握し、心身の状況や環境等に応じた適切なサービス提供に努めました。
 - (1) 自立支援（身体的自立・精神的自立）
 - (2) 認知症支援
 - (3) 医療連携
 - (4) 自己実現（QOLの向上）
 - (5) 家族支援（レスパイトケア）
- 2 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。
- 3 要介護者へ質の高いケアマネジメントを実施するために、地域のさまざまな関係機関とネットワークを構築し、地域に根ざした信頼される事業所となるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 ケアプラザ内の事業所という特色を生かし、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）との連携も密にしながら、きめ細やかな対応をました。
お客様の状態に応じて、ケアプラザで実施している事業等のインフォーマルサービスをケアプランに積極的に位置付けました。
- 2 定期的に、法人本部にてケアマネジャー担当者会議を開催し、情報交換や制度理解、ケアプラン作成研修、業務改善等に取り組みました。
- 3 「自立支援」「認知症支援」「医療連携」に強いケアマネジャーを育成するために、テーマ別の勉強会や研修を実施しました。

《お客様実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
52	59	54	49	56	59
10月	11月	12月	1月	2月	3月
55	63	72	71	81	91

通所介護事業

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤個別機能訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

(要介護1)	692円	(2割負担の場合)	1383円
(要介護2)	817円	(2割負担の場合)	1634円
(要介護3)	947円	(2割負担の場合)	1893円
(要介護4)	1077円	(2割負担の場合)	2153円
(要介護5)	1206円	(2割負担の場合)	2412円

2 個別機能訓練加算 60円 (2割負担の場合 120円)

3 入浴加算 54円 (2割負担の場合 108円)

4 口腔機能向上加算 161円 (2割負担の場合 322円)

5 サービス提供体制加算Ⅰ 1 20円 (2割負担の場合 38円)

6 中重度者ケア体制加算 49円 (2割負担の場合 97円)

7 食費負担 650円

8 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員3名 介護職員22名 看護職員4名 運転手6名

《目標》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。
- 地域にある保育園の園児の訪問や、小学生、中学生、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティアさんの訪問も多く、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんでいただきました。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《お客様実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
688	709	713	688	702	682
10月	11月	12月	1月	2月	3月
658	674	620	571	563	645

介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの介護予防通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤運動機能向上訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

（要支援1） 1766円 （2割負担の場合 3531円）

サービス提供体制加算 78円 （2割負担の場合 155円）

（要支援2） 3621円 （2割負担の場合 7241円）

サービス提供体制加算 155円 （2割負担の場合 309円）

2 食費負担 650円

3 生活機能向上加算 108円 （2割負担の場合 215円）

4 運動器機能向上加算 242円 （2割負担の場合 483円）

5 口腔機能向上加算 161円 （2割負担の場合 322円）

6 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員3名 介護職員22名 看護職員4名 運転手6名

《目標》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。
- サービス利用時にも洗濯物やおしぼりをたたんでいただくなど、役割を持って過ごしていただけるよう、工夫しました。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《お客様実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	13	13	11	11	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	13	11	10	10	9

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

総合相談を受けたケースについて、包括のみで対応するのではなく、事業部門間でも常に情報交換、共有を図り、ケアプラザ全体で支援に取り組みました。

〔今年度実績〕 相談 1448 件 訪問 411 件

高齢者分野以外への連携が必要なケースに対しては、児童相談所や障がい者関連事業所等との連携を行いました。

<課題・今後の方向性>

総合相談においては、高齢独居、身寄りなしのケースが多く、調整に時間を要したり、調整が複雑化しているため、所内はもとより南区役所、南区社協等との一層の連携強化、情報共有を図っていきます。

所内での情報共有をより一層意識して業務に取り組んでいきます。

単身高齢世帯が多いこと等により、室内環境整備が必要なケースが増えています。南区役所担当者と協議しながら、民間事業者の活用等の検討を進めていければと考えています。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

<内容・成果>

日々の業務において5職種が常にコミュニケーションをとりながら、地域支援に取り組みました。

【共催事業】今年度実績

開催回数：63回 参加者数：延べ1291名

5職種会議、地域アセスメントの実施により、地域の情報共有等に努めました。

職員間で分担して各地域の民児協に出席し、民生・児童委員の方々と一層の連携強化を図りました。

地域の事業や活動、行事に積極的に参加し、把握した情報を互いに伝え合うなど、情報共有に努めました。

<課題・今後の方向性>

共催で実施している事業の内容の見直しを進めています。

脳健康教室は、参加者数が減少しています。今後、コグニサイズ的なトレーニングへの移行をボランティアの方々とともに検討していきます。

◎実施できなかった取組及び改善案

総合事業における地域資源づくりについては、南区役所、南区社協、既存の活動団体を含む地域の担い手の方々と協同して進めていきます。

3 職員体制・育成

<内容・成果>

通所介護事業では、昨年度に引き続き横浜市総合リハビリテーションセンターのPTの定期的な支援を受け、職員の機能訓練に関するスキルアップを図りました。

また、看護職員を中心として個別機能訓練の一連の流れの確立、個別性の高い機能訓練の実施に取り組みました。

事務専任職員の配置により、各事業部門において効率的な事業運営を行いました。

各職員のスキルアップのために、職種・年齢層・入社年数・職制等様々な区分による法人内外の研修に積極的に参加しました。

<課題・今後の方向性>

定年退職や人事異動により職員が交代となる事業部門においては、後任職員のキャリア等に応じた育成を図り、円滑に業務遂行できるよう努めます。

4 地域福祉のネットワーク構築

<内容・成果>

今年度は特に婦人部、老人会の行事に積極的に参加し、ケアプラザの機能周知や介護予防に資する健康体操等を行いました。現在は、婦人部、老人会からケアプラザへの協力依頼をいただけるようになっていきます。

地域ケア会議では、男性の地域活動参加を増やしていくための検討を行い、課題や現状把握が進みました。今後、継続して地域住民と検討していきます。

両地区の防災訓練に参加し、地域住民と共に各種訓練を行いました。寿東部地区の訓練では、ブースを設置し、南区社協と共に災害対策の多言語版リーフレットの配布を行いました。

<課題・今後の方向性>

地域福祉保健計画地区別計画振り返り会議にて、「認知症普及啓発事業のチラシが分かりづらい」との意見をいただいたため、各種事業案内について分かりやすく、興味を持っていただける内容となるよう、工夫していきます。

5 区行政との協働

<内容・成果>

南区役所、南区社協との定例会により、情報の共有、支援方針の検討及び統一等を行い、協働体制を強化しました。

タイムリーな情報提供、共有が必要なケースについては、随時連絡を取り合い、課題解決に取り組みました。

<課題・今後の方向性>

第3期南区地域福祉保健計画の2年目としての取組を進めていきます。区社協や関係機関と連携し魅力ある事業開催等による地域活動の新たな担い手の発掘に取り組みます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

<内容・成果>

1 情報収集

地域における各関係機関の会合や行事への積極参加や、ケアプラザ来所者へ積極的に声をかけるよう心がけ、地域の方の声を直接聞く機会を作り、情報収集に努めました。

研修会や連絡会、地域活動等に積極的に参加し、福祉保健に関するさまざまな情報や地域の社会資源開発事例などの情報収集に努めました。

2 情報提供

通年の事業や特別プログラムのポスターやチラシをその都度作り、館内の見やすい場所へ掲示しました。また、地域のイベントや自主事業の際にもチラシを配布しました。来所者のご希望に合う事業の紹介を窓口で積極的に行うように努めています。

ホームページを随時更新し、最新の講座の開催情報を確認できるようにしました。子育て支援事業等ではホームページの情報で来所する方も増加しました。

貸館利用登録団体の情報提供を工夫し、館内に見やすく掲示しています。新規登録団体や活動内容の変更があった団体について随時情報更新しています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

<内容・成果>

1 施設の積極的紹介

障がい児余暇支援事業「Ciao!」や「南区精神保健福祉講座～生活支援学習会～」など単発開催事業を中心として土曜日・日曜日に開催し幅広い世代の方々が参加できるよう工夫しました。

施設利用マニュアルの変更に伴う説明会において、貸館利用時間帯等を改めて確認し、平日夜間、土曜・日曜・祝日の利用も可能なことを周知しました。

地域の会議や行事に参加する際や共催事業を行う際に、広報誌やパンフレットを配布し、ケアプラザの紹介や各種事業の案内を行いました。

2 イベント開催

地域の方々が幅広くふれあい、ボランティア活動を知る機会として、南区ボランティア連絡会を開催しました。

また、南区社協との共催で「南区ボランティアフェスタ」を開催しました。地域の方々を始め、ケアプラザの事業等に関わるボランティアにもチラシを配布するなど周知しました。

まるごとみなみスタンプラリーを昨年度に引き続き、継続開催しました。地域の方が楽しみながら南区内の施設を知っていただく機会となりました。

3 自主企画事業

<内容・成果>

地域活動の新たな担い手発掘を目的として「旨いコーヒーの淹れ方講座」（全5回）を開催しました。講座参加者は、うらふね納涼祭や南区ボランティアフェスタ等でボランティア活動を行いました。

<課題・今後の方向性>

来年度は、ボランティアの方々と共に企画・運営できるような事業を計画するとともに、定期活動機会の確保や活動範囲の拡大に向けて支援していきます。

<内容・成果>

区内在住の講師からの提案を受け、4月に「初めての気功」を新規事業として開催したところ、参加者の好評を得たため、月1回の通年事業として開催しました。アンケートでは身体の変化を実感し、講座の継続を希望する声が多く出ています。

<課題・今後の方向性>

継続希望の参加者を中心に自主サークル化できるように講師とも相談しながら支援していきます。

<内容・成果>

南区福祉保健センター、南区生活支援センターと共催で「支援者向け SST 講座」「南区精神保健福祉講座～生活支援学習会～」を開催し、当事者、家族、支援者と幅広い参加者にケアプラザの役割等を明示、周知しました。

<課題・今後の方向性>

地域アセスメントなどにより地域住民のニーズを捉え、多世代が参加できる事業を企画し実施していきます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

1 ボランティア育成についての考え方

<内容・成果>

ボランティアネットワーク会議に出席し、区域で活動するボランティア団体の把握、ケアプラザでのボランティア活動の周知といった情報交換を行い、地域におけるボランティア活動の現状を把握し、今後のボランティア団体の協働の可能性を検討しました。

<課題・今後の方向性>

今年度の検討の結果をふまえ、ボランティア団体との協働による活動内容の拡大、ネットワーク化による活動の場の情報提供をさらに進めていきます。

2 ボランティア育成の取組

<内容・成果>

地域活動の新たな担い手発掘を目的として「旨いコーヒーの淹れ方講座」（全5回）を開催しました。

参加者のボランティア活動の開始の場として、うらふね納涼祭や南区ボランティアフェスタ（南区社協共催）において「うらふね café」を設け、コーヒーの提供を行いました。

<課題・今後の方向性>

当ケアプラザの事業だけでなく、近隣ケアプラザやボランティアセンターと連携しながら、地域における活動の場の情報提供、活動支援を行っていきます。

<内容・成果>

昨年度に活動を終了した食事会ボランティア団体の後を受け、既存団体の「男のまな板」グループに働きかけ、カレーランチ提供を開始しました。3か月に1回の開催が定着しています。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

<内容・成果>

[今年度実績] 相談 1448 件 訪問 411 件

総合相談に対しては包括職員と地域交流Ｃ〇、生活支援Ｃ〇、居宅介護支援職員、デイサービス職員が連携し、スピード感を持って対応しました。

包括職員不在時には、他職種（地域交流Ｃ〇、生活支援Ｃ〇、居宅介護支援職員、デイサービス職員）でも対応し、途切れない支援を心掛けて実施しました。

民生委員の方々との関係強化が進み、早い段階からの相談や情報提供を受けるケースも増加しています。一方で、高齢・独居・身寄りなしのケースも多く、調整が難しく時間を要すケースも多くあります。

南区役所の担当職員（高齢・障害支援課、生活支援課）、南区社協、医療機関相談員等、多職種連携により支援に取り組みました。

高齢者分野以外への連携が必要なケースに対しては、関係機関（児童相談所、こども家庭支援課、障害サービス事業所等）に情報提供を行い、共同、連携して対応しました。

各機関とのネットワークに加え、エリア内に 12 棟ある高齢者住宅の援助員と密に連絡を取り、関係づくりを行いました。入居者の変化等について連絡が増え、包括支援センターの周知活動にもつながりました。

<課題・今後の方向性>

高齢・独居・身寄りなしのケースが多い地域柄もあり、ケースによって権利擁護制度を利用するタイミングの見極めが重要となっています。南区役所、南区社協と常に連携しながら支援に取り組んでいきます。

単身高齢世帯が多いこと等により、室内環境整備が必要なケースが増えています。南区役所担当者と協議しながら、民間事業者の活用等の検討を進めていければと考えています。

高齢者住宅生活援助員と、包括支援センターの双方の業務を正しく理解、把握するための場の設定を検討し、今後さらに円滑な連携ができるようにしていきたいと思えます。

地域包括支援ネットワークの構築

<内容・成果>

地域ケア会議では、男性の地域活動参加を増やしていくための検討を行い、課題や現状把握が進みました。

地域の小規模多機能型居宅介護事業所やグループホーム等の運営に関する会議への出席や研修等の参加により顔の見える関係づくりが進みました。

認知症サポーター養成講座へ講師派遣を受けるなど協力関係の強化が進んでいます。

<課題・今後の方向性>

医療関係者と介護関連事業者の連携強化を図るための連絡会等の開催を検討していき

ます。

実態把握

<内容・成果>

地区社協、町内会、老人会、婦人部、小学校、保健活動推進員、民生委員等、多岐にわたる関係機関が関わる事業、行事に積極的に参加し、地域の実態把握に努めました。

地域アセスメントシートを活用し、5職種で地域の実態把握に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

<内容・成果>

本人、家族、支援者等、成年後見制度の個別の相談においては、説明のほか、専門家による直接的な相談の場を設定し、包括支援センター職員同席のもと継続した相談を行いました。

成年後見制度、生前整理、相続、遺言などに関する講座を、南区社協と共催にて2月に2回実施しました。

行政書士の個別相談会を行いました。内容に応じて、包括支援センターとして継続した情報提供を行い、公証役場での相談にも同行するなど、安心して相談できるよう心がけました。

医療機関からの相談者には入院時から、ご家族を含め、制度説明を行い、必要な申し立て書類を渡すなど支援を行いました。

<課題・今後の方向性>

消費者被害防止に関しては、民児協定例会や介護者のつどい、デイサービス、地域交流事業の場で実施していますが、南区の被害者数を考えれば繰り返しの注意喚起が必要と考えます。

高齢者虐待

<内容・成果>

「うらふね介護者くらぶ」の中で、虐待の話題に触れ、介護の際の実際の行為について、その悩みを隠さずに、話しやすい場となるように心がけて行いました。互いの共感や励まし合いにより、虐待の未然防止に繋がっていると捉えています。

高齢者虐待の通報時、迅速に区役所高齢・障害支援課に連絡し、特に、初動に遅れのないよう対応しました。

ケアマネジャーや居宅サービス事業所との関係や、ご家族の対応、支援など、役割分担のもとに行いました。

虐待予防リーフレットを用い、民児協定例会の場において、分類や現状についての説明や、気づいた時の相談窓口案内を行いました。

浦舟デイサービススタッフ向けに、支援者としての虐待の気づきや相談、通報についての研修を行いました。

<課題・今後の方向性>

地域の支援者から早期に情報提供を得るための仕組みづくりが必要と考えています。また、通報の迷いをなくすためにも、区役所と相談しながら、虐待予防に関する活動を地道に行いたいと考えています。

認知症

<内容・成果>

徘徊の相談時にはご家族や、ケアマネジャーに南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワークの情報提供を行い、必要に応じて登録申請を行いました。

認知症の方と介護者の方が参加できる「うらふね介護者くらぶ」について、相談受付時や、デイサービスの家族会で案内しました。

居宅介護支援事業所への訪問時や、ケアマネジャー来所時に「うらふね介護者くらぶ」のチラシを配布、介護負担軽減の場として案内を行いました。成果として、新メンバーが数名参加しています。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

<内容・成果>

ケアマネジャー向けに、南区の包括と区役所で、プランの立て方について研修を実施しました。その際、インフォーマルサービスの重要性も説明しました。

<課題・今後の方向性>

委託ケアマネジャーのケアマネジメントが、いまだに介護保険サービス中心となっているため、インフォーマルサービスの情報提供やプランニングの研修機会を作る必要があります。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

<内容・成果>

地域住民、関係機関との連携強化のため、民生委員の定例会や地区社会福祉協議会の振返り会議、地域の行事等に積極的に参加しました。地域の方々のケアプラザ機能に対する理解が進んできています。

年に2回ケアマネジャーやサービス事業所、民生委員との勉強会を開催しました。勉強会時に民生委員の紹介をし、会の終了後はケアマネジャーと民生委員との会話が活発に行われていました。

地域ケア会議を通じ、地域の状況や課題の把握が進みました。今後、解決に向け検討していきたいと思えます。

医療・介護の連携推進支援

<内容・成果>

南区在宅医療連携拠点、横浜中央病院等で行われた事例検討会や研修に積極的に参加し、関係づくりを進めました。

地域のケアマネジャーからの相談時に、医療機関の情報を提供し、連携推進を支援しました。

<課題・今後の方向性>

医療関係者と介護関連事業者の連携強化を図るための連絡会、勉強会等の開催を検討していきます。

ケアマネジャー支援

<内容・成果>

ケアマネジャーからの相談を随時受け、困難ケースについては、区役所とのカンファレンスで報告し、区役所担当者、区社協（あんしんセンター）職員、民生委員、医療機関等と連携し、支援しました。

今年度も新人、新任を対象としたケアマネジャー研修を実施し、2名が受講しました。

年に2回ケアマネジャーやサービス事業所、民生委員との勉強会を開催しました。勉強会時に民生委員の紹介をし、会の終了後ケアマネジャーと民生委員との会話が活発に行われていました。

南区の8包括協働にてインシデントによる事例検討会を開催し、好評でした。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

<内容・成果>

地域ケア会議では、医師、理学療法士、地区社協担当者、元気づくりステーションボランティアの方々と検討を行い、多職種協働を進めました。

年に2回ケアマネジャーやサービス事業所、民生委員との勉強会を開催しました。勉強会時に民生委員の紹介をし、会の終了後ケアマネジャーと民生委員との会話が活発に行われていました。

<課題・今後の方向性>

地域ケア会議に対する認識がまだまだ薄いため、どのように広めていくか、検討していきます。

5 介護予防事業

介護予防事業

<内容・成果>

地域の老人会、敬老会、婦人部行事、食事会、地区社協の集まり等へ出向き、介護予防に関する情報提供や体操を実施しました。その結果、一部の住民が介護予防目的の地域の集まりに参加するなどの効果が出ています。

介護予防ボランティア向けへ、スキルアップ講座を実施しました。モチベーション向上や交流の場となりました。

「コミュニティサロンおさん」でボランティアが中心で進めている介護予防サロンを2回/月実施しました。人数の増減はありますが、気軽に参加できる体操の場として、地域に定着しつつあります。また、要支援状態の方で、おさんに参加することを目標にリハビリに励んでいる方もいて、地域の仲間作りの場にもなっています。

「コミュニティサロンおさん」を会場として活動してきましたが、手狭になったため、平成29年3月より「有料老人ホームサニーステージ」に会場を変更しました。

ハッピー脳トレウオーキング（元気づくりステーション）の活動が、5月より2回/月から1回/週となりました。参加者が50名を超える日も多々あり、インフォーマルサービスとしては、かなりレベルの高い介護予防の場となっています。

また、1回/週の活動になったことで参加者の歩行状態に改善が見られるなどの効果が上がっています。

<課題・今後の方向性>

老人会や婦人部の行事自体が介護予防の場とはなっていないこと。介護予防の場となるためには、活動回数をさらに増やすことが必要ですが、そのことを地域住民に理解してもらうことが出来ませんでした。

また、ケアプラザからの声掛けを実施した場合、参加者が受け身となることが多いため、主体的な活動となるよう工夫をしていきます。

6 生活支援体制整備事業

[ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成]

アセスメントシートにおいては、連合町内会及び単位町内会ごとに作成し、きめの細かい実態の把握と分析に努め、地域展開につながっています。

要支援ケースの介護保険サービス（訪問介護）の利用状況について分析を行いニーズや実態の把握に努めました。また、各町内会の老人会を中心に、生活支援や介護予防に関するアンケートを実施し、個別ニーズについても把握に努めました。併せて生活支援体制整備事業および生活支援コーディネーターの業務についても説明を行い、これからの取組みについて理解を求めました。

こうした一連の業務において、今後必要とされる社会資源や代替サービス創出の必要性の検証につなげることができました。

毎月1回の定例会では、地域交流Coも交えた5職種での情報交換、共有を行い、多角的な地域ニーズの把握や意見交換を行い、協働による地域展開につながっています。

地域資源については、常に5職種で最新の地域の状況について交換しながらリストに反映し、継続して作成することで最新の情報を共有するようにしています。

[圏域レベルの協議体の設置・開催]

協議体については、今年度開催した地域ケア会議のテーマを継承した作業部会を発足し、継続性のある、より具体的な地域展開に結びつく内容で実施します。

昨年度から始まった南区地域人材発掘講座「老後をプロデュース」を運営している市民活動団体との協働を協議体として展開ができるよう、連携を強化しています。

[圏域レベルの目標・取組事項の設定]

生活支援 Co 連絡会において、これまでの業務について、目標と取組を共有化し、進捗状況を振り返りました。その過程において、成果と課題を明確化し、今後の動きにつなげられるようにしていきます。

[具体的な取組事項への着手]

生活支援ワーキンググループにおいては、区域の課題を検討し、協議体の開催に向けて他 CP、区、南区社協と連携を図り進めています。

3月に「ちょこっとボランティア」のネットワークをテーマとして、第1回目の区域の協議体を開催しました。

7 その他

小規模多機能型居宅介護事業終了後のスペースの活用方法を検討し、地域住民の交流スペースとしての活用を2月から開始しました。今年度は月2回の開放とし、次年度は月3回の開放とします。

地域住民の交流の場としての活用の他に、住民ニーズの把握の場としても活用を進めていきます。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市浦舟地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	14,175	22,973	151	0	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	6,400	9,382	87,995	5,832	27,283	0
	その他	4,511	4,252	34	5,807	481	944	0	0	1,808
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	5,676	0	0	0	0	0
	認定調査委託料収入	0	0	0	0	481	0	0	0	0
	原案作成委託料収入	0	0	0	131	0	0	0	0	0
	その他雑入	0	0	0	0	0	944	0	0	0
	事業費収入	275	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費収入	811	0	0	0	0	0	0	0	0
	法人負担分	3,425	4,252	34	0	0	0	0	0	1,808
収入合計(A)	18,686	27,225	185	12,207	9,863	88,939	5,832	27,283	7,597	
支出	人件費	10,997	24,363	0	5,619	14,476	63,413		18,141	7,428
	事務費	1,991	1,642	0	5,354	1,852	6,343		2,461	
	事業費	643	344	185	0	294	8,183		2,015	169
	管理費	3,295	876	0	0	0	5,914		1,429	
	その他	880	0	0	0	0	9,569		5	0
	消費税	880	0	0	0	0	0		0	0
	委託事業へ補填	0	0	0	0	0	9,554		0	0
	その他の活動による支出	0	0	0	0	0	15		5	0
支出合計(B)	18,686	27,225	185	10,973	16,622	93,422		24,051	7,597	
収支 (A) - (B)	0	0	0	1,234	-6,759	1,349		3,232	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あつまれ！ ハニービー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放(未就園児) 第1(金)親子触れ合い体操 第3(金)こどもの部屋 手遊び／読み聞かせ	毎月第1・3・5(金) 午前 全28回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あつまれ！ ハニーベイビー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放(月齢児) 第3(金)ママ達への癒しの時間	毎月第1・3・5(金) 午後 全28回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
PCルーム開放	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCのフリースペース開放	毎月第1・3(金) 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねPC相談室	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCボランティアによる高齢者向けのパソコン相談室	毎月第2・4(金) 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声ひろば	目的：閉じこもり予防、認知症予防、地域交流 内容：ギターボラによる懐メロ・唱歌の会	毎月第3月(金) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね納涼祭	目的：浦舟複合福祉施設の周知と地域交流 内容：模擬店、フリーマーケット、ステージ発表、各種イベント他	H28年8月21日(日)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	目的：ボランティア育成、地域交流 内容：よこはまシニアボランティアポイントカード取得のためのボランティア研修会	H28年6月27日（月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての気功	目的：健康への意識向上と介護予防、他者との交流 内容：気功インストラクターによる初心者向け気功教室	H28年4月20日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての気功第2弾	目的：健康への意識向上と介護予防、他者との交流 内容：気功インストラクターによる初心者向け気功教室	H28年5月18日（水） 以後月1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神疾患にかかわる支援者のためのコミュニケーション講座	目的：利用者との具体的なコミュニケーション方法を学び、精神疾患の理解を深め、共感的・支持的なサポートのスキルアップを目指す。 内容：生活技能訓練の技法を使ったコミュニケーション講座	H28年6月15日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旨いコーヒーの淹れ方講座	目的：生活支援体制整備事業の推進のための地域人材の発掘と活動（コーヒーを提供する）場所を作っていく。 内容：講義と実践及び、紅茶とコーヒーに合うお菓子作り。講座終了後はグループ化を目指す。	H28年6月22日（水） 29日（水） 7月 6日（水） 13日（水） 20日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末大掃除大会	目的：登録団体同士の交流 内容：ケアプラザの大掃除を通して、各団体の交流を図る	H28年12月26日（月）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
C i a o ! 障がい児余暇支援事業	目的：知的障がい児の余暇支援、保護者間交流、知的障がい者の社会参加。 内容：地域の協力を得て、調理、工作等の講座や外出を行う。	H28年8月12日（金） 12月11日（日） H29年3月30日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レインボーフェスタ	目的：施設の周知と近隣施設との交流 内容：浦舟・中村地域の福祉関係施設の共催事業。中村小学校や中村地区センターなどを会場に模擬店やイベントを実施。浦舟地域ケアプラザは、中村地域ケアプラザと協働でフリマ運営	H28年9月24日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアに対する感謝会とボランティア同士の交流 内容：食事会と活動発表会	H29年3月12日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ講座	目的：活動中のボランティアに対して、コグニサイズ実演ロボットを体験してもらい、今後さらに安全に楽しくボランティア活動が継続できるよう、スキルアップを図る。 内容：コグニサイズ実演ロボット（パルロ）の実演	H28年4月16日他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室（第17期）	目的：認知症予防、地域交流、引きこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	4月～8月 全22回 毎週（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室（第18期）	目的：認知症予防、地域交流、引きこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	10月～2月 全22回 毎週（木）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶会 (包括共催)	目的：閉じこもり予防、地域交流 内容：各種イベントとおしゃべり	毎月第2（金）全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんがわ倶楽部	目的：囲碁・将棋・オセロを趣味とする地域住民相互の交流機会を作る。また高齢者や学生との異世代交流も自然な形で行えるようにする。 内容：囲碁・将棋・オセロを準備した部屋を出入り自由に開放する。	毎月第2・4（土）全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日枝小学校高齢者疑似体験、車いす体験講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、高齢者疑似体験、車いす体験を通して高齢者の身体状況を理解する。 内容：ケアプラザ職員と地区民生委員児童委員協議会の共同で、子どもの体験をサポートする。	H28年7月2日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体で見守れるようにしていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座および寸劇、グループワーク	H29年2月1日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体で見守れるようにしていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座および寸劇、グループワーク	H29年1月17日（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お三の宮地区認知症サポーター養成講座 (包括・地域交流・生活支援共催)	目的：地域住民の認知症への理解を深めるために、ケアプラザ、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、友愛活動員の共催で、講座を開催する。 内容：キャラバンメイトによる講義およびDVD、寸劇およびグループワーク	H28年11月26日（金）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お三の宮地区連合婦人部認知症サポーター養成講座 (包括・地域交流・生活支援共催)	目的：地域住民の認知症への理解を深めるために、婦人部在籍の方々に対して連合婦人部主催にて講座を開催する。 内容：キャラバンメイトによる講義およびDVD、寸劇およびグループワーク	H29年2月24日（金）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万世町町内会認知症サポーター養成講座（包括・地域交流・生活支援共催）	目的：地域住民の認知症への理解を深めるために、万世町町内会の方々に対して町内会主催、寿東部地区社協共催にて講座を開催する。 内容：キャラバンメイトによる講義およびDVD上映およびグループワーク	H29年2月18日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区社会福祉協議会送迎サービスボランティア認知症サポーター養成講座（包括・地域交流・生活支援共催）	目的：南区社協の送迎ボランティアに対して認知症への理解を深めるために、講座を開催する。 内容：講義およびDVD上映およびグループワーク	H29年3月9日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねっと“手と手”（包括）	目的：地域で活動の介護支援専門員対象の勉強会・交流会 内容：事例検討・プランの立て方・情報交換・民生委員との交流会などケアマネージャーが望む内容	H28年9月28（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね介護者くらぶ（包括）	目的：家庭で介護をされている方や介護経験者などを対象に、悩み相談、スキルアップ、ストレス発散を目的に開催 内容：施設見学会、茶話会など	毎月第2（火）全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防出張講座（おさん）	目的：65歳以上の一般高齢者を対象に、健康づくりについて学び、介護予防を日頃から実践してもらう。 内容：運動、栄養、口腔ケア	H28年11月25日（金） 12月2日（金）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「元気サロンおさん」担い手育成事業	目的：コミュニティサロンおさんを利用した介護予防活動の場の創設 内容：介護予防のための体操講座を行い、担い手中心として自主化し地域資源として定着させる。	H28年4月16日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続・遺言・成年後見の個別無料相談会実施します！	目的：老後の備えとして、任意後見制度と遺言の周知。また無料相談会による問題解決の場の提供。 内容：行政書士の講師による任意後見制度と遺言の講義。無料相談会。	H28年8月13日（土） 9月10日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南なんデー	目的：南区の福祉保健祭りとして開催される「南なんデー」に、区内7ケアプラザのコーディネーターと区役所、区社協と共催で、異世代交流と地域福祉保健計画・地域ケアプラザの周知を目的に参加する。 内容：ケアプラザクイズ・地域福祉保健計画クイズ・ふれあい遊び	H28年10月2日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めてのスマホ講座	目的：浦舟地域ケアプラザの周知と地域の高齢者のIT支援を行う。 内容：KDDI ケータイ教室事務局を講師に迎え、スマートフォンの基本的な操作方法を学ぶ。	H29年3月6日（月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座（包括）	目的：ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象とした介護予防講座 内容：介護予防実践に繋がる講座内容とする。	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区ボランティアフェスタ	目的：地域で活躍するボランティア団体が体験や展示で活動を紹介し、幅広い世代にボランティア活動を知ってもらい、興味を持ってもらう機会とする。 内容：ボランティア活動紹介と発表および参加者同士の相互交流。	H29年2月19日（日）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今からはじめる物と心の整理術	目的：死後の不安を少しでも軽減でき、安心した生活が送れるようになる。また相続や遺言の正確な情報を知ることができる。 内容：権利擁護の一環として専門家による講話を2回シリーズで開催。1回目…生前整理 2回目…相続・遺言	H29年2月2日（木） 2月16日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気サロンおさん	目的：コミュニティサロンおさんを利用した介護予防のための体操講座。講座実施後に担い手を中心として自主化し、地域の社会資源として定着させていく。 内容：ハマトレを中心とした体操を月2回ボランティアを中心に実施する。	毎月第1・3（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
口腔栄養講座 （コミュニティサロンおさん）	目的：65歳以上の一般高齢者を対象に「いつまでも自分らしく生活をする」ために、健康づくりについて学び、介護予防を日ごろから実践するための講座。 内容：介護予防教室として、食事の摂り方、口の中の手入れの方法、口や舌の体操等を紹介。地域で実施することで、ケアプラザまで来ることができない高齢者が参加できる。	H28年11月25日（金）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 （ひだまり・高根町西町内会館）	目的：65歳以上の一般高齢者を対象に「いつまでもはつらつと自分らしく生活する」ために健康づくりについて学び、介護予防体操を日頃から実践してもらうための講座 内容：体力の維持・向上のために日常生活の中で行うことのできる運動や体操を実施。	H28年10月12日（水） 11月9日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区精神保健福祉講座～生活支援学習会～	目的：統合失調症の精神疾患のある方への関わり方を中心に、病気の症状や治療等について基礎知識を学ぶ。ご家族・支援者・関係機関を対象とし、精神疾患のある方が地域で生活していく環境づくりの一助とする 内容：講義および制度や社会資源・相談機関・家族会についての紹介、質疑応答	H28年11月13日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室利用に関する説明会	目的：H29年度以降の貸館利用の改訂に伴い、改訂点の説明と新規団体区分による登録申請の実施、貸室利用のルールの再確認のための説明会。 内容：改訂点の説明と質疑応答、団体登録申込書の記載の仕方と説明。	H28年12月3日（土） 12月6日（火） 12月8日（木）

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見て、触って、 乗って「福祉用 具講座」	目的：福祉用具の情報提供を行い、介護や介護予防の役に立ち、当事者・介護者の負担軽減につなげる。 内容：福祉用具（電動ベッド、電動車いす、電動歩行器、つっぱり棒などを実物を見て、試乗、体験する）	H28年12月1日（木）

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
あつまれ！ハニービー	1歳以上未就園親子						
	953人						
	無料	21,647	21,647	0	11,136	2,951	7,560
あつまれ！ハニーベイビー	1歳未満親子						
	364人						
	無料	6,757	6,757	0	0	1,717	5,040
PCルーム開放日	高齢者						
	105人						
	無料	0	0	0	0	0	0
うらふねPC相談室	高齢者						
	300人						
	無料	0	0	0	0	0	0
歌声ひろば	高齢者						
	775人						
	無料	0	0	0	0	0	0
うらふね納涼祭	地域住民						
	700名						
	無料(模擬店収入別)	137,089	85,539	51,550	0	132,791	4,298
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	高齢者						
	3人						
	無料	0	0	0	0	0	0
初めての気功	地域住民						
	139人						
	300円	5,568	168	5,400	5,568	0	0
初めての気功第2弾	地域住民						
	114人						
	300円	67,408	33,208	34,200	61,248	0	6,160
支援者向けSST講座	支援者						
	21人						
	無料	0	0	0	0	0	0
旨いコーヒーの淹れ方講座 (全5回コース)	地域住民						
	83人						
	500円	89,581	50,081	39,500	0	86,781	2,800
うらふね年末大掃除大会	貸室登録団体						
	59人						
	無料	9,558	9,558	0	0	9,558	0
Ciao！障がい児余暇支援	知的障がいの小学生						
	25人						
	500円	25,941	21,941	4,000	8,909	15,352	1,680
レインボーフェスタ	地域住民						
	900人						
	無料	1,146	1,146	0	0	1,146	0

平成28年度 自主事業収支報告書

ボランティア交流会	活動ボランティア						
	36人						
	無料	79,283	79,283	0	0	69,769	9,514
ボランティアスキルアップ講座	活動ボランティア						
	14人						
	無料	560	560	0	0	0	560
(地域&包括共催) うらふね脳の健康教室(第17期)	高齢者						
	242人						
	2,000円	77,219	27,219	50,000	0	10,919	66,300
(地域&包括共催) うらふね脳の健康教室(第18期)	高齢者						
	440人						
	2,000円	138,802	26,802	112,000	0	3,582	135,220
(地域&包括共催) お茶会	高齢者						
	312人						
	無料	64,288	64,288	0	35,068	2,220	27,000
えんがわ倶楽部	地域住民						
	273人						
	無料	8,614	8,614	0	0	3,574	5,040
(地域&包括共催) 日枝小学校 高齢者疑似体験講座	小学生5年生						
	41人						
	無料	1,780	1,780	0	0	1,780	0
(地域&包括共催) 南吉田小学校認知症サポ ーター小学生養成講座	小学生4年生						
	122人						
	無料	660	660	0	0	660	0
(地域&包括共催) 日枝小学校認知症サポ ーター小学生養成講座	小学生5年生						
	119人						
	無料	954	954	0	0	954	0
(地域&包括共催) お三の宮地区認知症サポ ーター養成講座	民生委員他						
	35人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(地域&包括共催) お三の宮地区連合婦人部認 知症サポーター養成講座	民生委員他						
	33人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(地域&包括共催) 万世町町内会認知症サポ ーター養成講座	民生委員他						
	21人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(地域&包括共催) 南区社会福祉協議会送迎 サービスボランティア認知症 サポーター揺曳講座	民生委員他						
	12人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(包括) うらふねっと手と手	ケアマネジャー						
	60人						
	無料	707	707	0	0	707	0
(包括) うらふね介護者くらぶ	介護者						
	68人						
	無料	5,683	5,683	0	0	5,683	0

平成28年度 自主事業収支報告書

(介護予防) うらふねお達者塾	高齢者						
	50人						
	無料	48,416	48,416	0	41,136	0	7,280
(介護予防) 「元気サロンおさん」担い手 育成事業	高齢者						
	68人						
	無料	560	560	0	0	0	560
(包括) 今からはじめる物と心の整理	高齢者・介護者						
	91人						
	無料	0	0	0	0	0	0
南なんデー	地域住民						
	601人						
	無料	0	0	0	0	0	0
シニア向けスマホ講座	地域住民						
	15人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(包括) 元気サロンおさん	介護者						
	520人						
	無料	60,101	60,101	0	41,136	0	18,965
南区ボランティアフェスタ	地域住民						
	600人						
	無料	27,078	18,028	9,050	0	27,078	0
(包括) 口腔栄養講座(コミュニテイ サロンおさん)	介護者						
	12人						
	無料	94,671	94,671	0	71,136	12,895	10,640
(包括) 相続・遺言・成年後見の個別 無料相談会実施します!	高齢者						
	6人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(包括) 介護予防体操(高砂町町内 会、高根町西町内会)	高齢者						
	37人						
	無料	12,256	12,256	0	11,136	0	1,120
南区精神保健福祉講座 ～生活支援学習会～	障害者						
	39人						
	無料	0	0	0	0	0	0
貸室利用に関する説明会	地域住民						
	97人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(生活&包括共催) お元気で21サロン事業	地域住民						
	34人						
	無料	0	0	0	0	0	0
(包括) 見て、触って、乗って「福祉用 具講座」	高齢者						
	14名						
	無料	0	0	0	0	0	0